

No.1121 2018 年 5 月 7 日

5 月 15 日～6 月 15 日は「情報通信月間」です

期間中は、「ICT で つなげる ひろがる 明るい社会」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、「記念中央式典」をはじめ、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されます。ARIB でも情報通信月間行事として本年も「電波の日記念講演会（5 月 28 日）＜Web にて申込受付中＞」、「周波数資源開発シンポジウム 2018（7 月 6 日）」を開催します。

ARIBからのお知らせ

ARIB 機関誌 No.101 発行のお知らせ

ARIB 機関誌 No.101 を 4 月 27 日付にて発行いたしました。
本号では、「平成30年度の事業年度を迎えて」をはじめとしまして、「ARIB活動報告」では、2017 年12月から2018年3月末までの活動期間の報告をさせていただいております。

ARIB 機関誌 No.101 掲載記事

平成 30 年度の事業年度を迎えて

一般社団法人電波産業会 事務局長 松井 房樹

平成 30 年度の事業計画及び収支予算について

【 ARIB 活動報告 】

電波の利用に関する調査、研究及び開発

電波利用システムの調査研究

電波利用システムの研究開発

高度無線通信研究開発

電磁環境調査研究

コンサルティング及び普及啓発

標準規格の策定

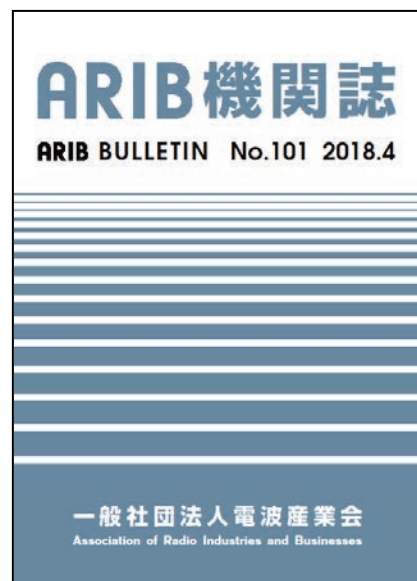
委員会報告

ARIB 日誌

出版物一覧

事務局の現状

事務局だより



ARIB 機関誌電子版を「ARIB 会員のページ」、「ARIB 機関誌」に掲載しておりますので、ご活用ください。

なお、ID・パスワードが不明の方は ARIB 会員連絡窓口までお問い合わせ下さい。

固定系無線将来展望調査研究会への参加募集について

固定系無線については、これまでマイクロ波帯を中心に準マイクロ波帯からミリ波帯まで用途や伝送容量に応じて様々な周波数帯で固定無線通信システムが開発・実用化され、多値変調・適応変調技術など高度な技術も順次導入されてきています。

今後は、5Gをはじめとした無線ゾーンの小セル化によるモバイル通信基地局の爆発的な増大により、有線にてバックホール回線等を機動的に構築できないケースが想定されます。また、IoT 社会の進展に伴う LPWA など低速で広域をカバーするセンサーネットワークへの対応も求められます。

こうした状況を踏まえると、情報通信インフラの一翼を担っている固定系無線について、高速化に対してはミリ波帯以上の新たな周波数帯の開発、広域化に対しては VHF 帯等の低い周波数帯の利用なども期待されます。また、今後は電気通信業務用、公共業務用、放送事業用などの用途によらないシステム共通化による経済化や共用周波数の拡大、更に海外展開に当たっては国際標準化戦略も重要になります。

以上の動向や視点を踏まえ、固定系無線に求められる役割やあり方、さらに各周波数帯における固定無線通信システムの技術要件等を検討し、固定系無線の将来展望を行うため、事業者、ユーザ、メーカなどの関係者から構成される「固定系無線将来展望調査研究会」を設置することとなりました。

つきましては、ARIB 正会員に対して平成 30 年 5 月 31 日まで参加募集をすることになりましたので、お知らせ致します。

ARIBの動き

第 158 回電波利用懇話会（ITS 情報通信システム推進会議共催）を開催 「自動走行を取り巻く環境とトラックの隊列走行 ～経済産業省の視点から～」

4 月 23 日（月）に、第 158 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は ITS 情報通信システム推進会議との共催で、経済産業省自動車課 ITS・自動走行推進室係長の丸山晴生様を講師にお迎えし、「自動走行を取り巻く環境とトラックの隊列走行～経済産業省の視点から～」と題してご講演いただきました。ご講演ではまず自動走行全般の現状をご説明頂いた後で、トラック隊列走行の狙いや実証実験の結果、今後の研究開発課題について、更にラストマイル自動走行プロジェクトについても分かりやすくご説明いただきました。

当日は、90 名を超える会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、隊列走行への「割り込み」に対する考え方等について、活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料は、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の <https://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/konwakai/index.html> において公開しています。



第 158 回電波利用懇話会の様子と講師の丸山様

高度無線通信研究委員会 第 13 回総会を開催

高度無線通信研究委員会(委員長：早稲田大学 高畑文雄教授)の第 13 回総会が開催されました。

- | | | |
|--------|-------------------------|-------------|
| 1 日 程： | 2018 年 4 月 23 日（月） | 13:15～15:00 |
| 2 場 所： | 東海大学校友会館(東京都千代田区 霞が関ビル) | |
| 3 出席者： | 顧問、特別委員、委員(代理、議長委任含む) | 45 名 |
| | 部会関係者 | 6 名 |
| | 事務局・その他関係者 | 15 名 |

4 議事の概要：

高畑文雄委員長および総務省総合通信基盤局電波部移動通信課の杉野 勲課長からのご挨拶の後、審議に入りました。

(1) 以下 3 名の方を本研究委員会の顧問に推挙する件について審議が行われました。全会一致により承認され、高畑委員長より顧問として委嘱されました。

- ・ 阪田 史郎 氏 (千葉大学 教授)
- ・ 安田 豊 氏 (元 KDDI 財団 理事長)
- ・ 渡辺 文雄 氏 (KDDI 総合研究所 代表取締役会長、KDDI 財団 理事長、UQ コミュニケーションズ CTO)

(2) 本研究委員会のモバイルパートナーシップ部会、標準化部会およびブロードバンドワイヤレスアクセス部会の各部会の平成 29 年度の活動状況について報告がありました。

(3) 3GPP、oneM2M および ITU-R Working Party 5D における最近の検討状況について報告がありました。

(4) 本研究委員会のモバイルコマース部会の平成 29 年度の活動状況について報告がありました。モバイルコマース部会について、事務局から以下 3 点の提案が行われ、全会一致

により承認されました。

- ① モバイルコマース部会は、世界的な発展が期待されるモバイルコマースの普及促進に寄与するという所期の目的を概ね達成したと判断されるため、平成 29 年度を以って解散する。
- ② 部会解散が承認された場合は、セキュリティの議論を行う検討母体の設置を進める。
- ③ モバイルコマース部会が解散終結された後の成果物については、本研究会の資産とすること(著作権を含む)を検討する。

5 今後の予定： 第 14 回総会は、平成 31 年 4 月ごろに開催する予定です。



挨拶される高畑委員長



高度無線通信研究委員会 第 13 回総会の様子

第 263 回技術委員会(通信分野)を開催

第 263 回技術委員会を開催しました。

1 日時：平成 30 年 4 月 25 日（水） 午後 3 時 30 分から 5 時 5 分まで

2 場所：当会第2会議室

3 議題

- (1) 第107回規格会議の結果について
- (2) 無線LAN開発部会の活動報告について
- (3) 固定系無線将来展望調査研究会の設置について
- (4) APG19-3の概要について
- (5) AWG23の概要について
- (6) タイでの5G関連イベントの概要について
- (7) 5G国際シンポジウム2018の概要について
- (8) 電波の日記念講演会の開催について
- (9) 各社からのトピックス
- (10) その他

今週の ARIB 内会合（5月7日～5月11日）

5月9日（水）：電磁環境委員会 第63回調査研究部会

5月9日（水）：スタジオ設備開発部会 HDR番組制作・運用 AdHoc

5月11日（金）：スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班

今週の国際会合（5月7日～5月11日）

5月2日（火）～5月11日（金）：ITU TG5/1#5（スイス・ジュネーブ）

総務省からのお知らせ

**生体電磁環境に関する研究戦略検討会第一次報告書（案）
に対する意見募集**

【平成30年4月24日発表】

総務省は、「生体電磁環境に関する研究戦略検討会」を開催し、過去およそ20年間の生体電磁環境に関する研究動向等を分析の上、2040年頃までを見据えた電波の安全性に関する中長期的な研究の方向性やロードマップについて、検討を行ってきました。

検討会において第一次報告書（案）が取りまとめられましたので、総務省は、当該報告書（案）に関して、平成30年4月25日（水）から同年5月24日（木）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【平成30年4月24日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp